

2021年3月28日 NO.56-13

《開会 午前10時30分》		－礼拝式順序－		司式 吉田謙牧師 奏楽 K姉妹
※は一同ご起立下さい。				
前 奏				
礼拝への招き	ゼカリア書 9 章 9 節			
挨拶				
※賛 美	詩編歌 1 2 1 (1)			
祈 祷				
罪の告白				
静 思				
赦しの宣言				
平和のしるし				－神の招き－
照明の祈り				
聖書朗読	ルカによる福音書 2 3 章 3 2 節～4 3 節 (新約 1 5 8 頁)			
説 教	「十字架のイエス・キリスト」			
祈 祷		吉田謙牧師		
静 思				－神の言葉－
※賛 美	1 3 6 (1)			
※信仰告白	ウエストミンスター小教理問答 問 8 7 (週報裏面)			
※使徒信条				
献 金	H姉妹・Y姉妹・S姉妹			
執り成し		吉田謙牧師		
主の祈り	(週報裏面)			－感謝の応答－
※頌 栄	5 4 2			
※祝福と派遣	吉田謙牧師			
※アーメン三唱	4 0 - 5 (讃美歌21)			
報 告	礼拝当番 N執事・U姉妹			－派 遣－

※体調のすぐれない方は座席についたままで礼拝にご参加ください。

《罪の告白と赦し》

罪の告白への招き

司式 罪人である私たちを、神様はなお憐れみをもって招いておられます。
ですから、今、私たちは、神様の御前に出るにあたって、
自らの罪を、へりくだりと信仰をもって、神様に正直に告白いたしましょう。

罪の告白

司式 一同で罪の告白をいたします。皆様は心の中で告白してください。

罪の告白

司式 一同で罪の告白をいたします。

一同 憐れみ深い父なる神よ。私たちは告白します。神の心と私たちの心は、
何と異なっていることでしょうか。私たちは、神のみ心が行われることよりも、
自分が成功し、幸福になることを第一に考えています。
飢えている人々があることを気にしないで、飲み食いしています。
ほかの人の悲しみには鈍く、自分の苦しみだけが取り去られることを願っています。
ほかの人の必要を知らないで、自分の欲しいものを手に入れようとしています。
ほかの人の心を知らないで、自分の話したいことを口に出しています。
あなたの戒めに従うよりも、自分の判断を優先させています。
自分の好きなことを行うときの足は速く、
困っている隣人を助けるための足は重くなってしまいます。
私たちの罪をゆるし、私たちの心を新しく造りかえてください。
聖霊によってきよめ、日々キリストに似る者にしてください。
自己中心ではなく、神と隣人を中心に生きることができるよう助けてください。
救い主イエス・キリストの御名によって祈り願います。 アーメン

司式 しばらく目を閉じて、一週間の歩みを振り返り、それぞれ犯した罪を思い起こしましょう。そして、その罪を心から悔い改め、その赦しを神様に願い求めたいと思います。しばらく心静まる時間を持ちます。（４０秒）

赦しの宣言

司式 主の憐れみは、永遠から永遠まで変わることがありません。
主イエス・キリストの御名により、私はあなたがたに罪の赦しを宣言します。
あなたがたの罪をすべて赦される憐れみの神が、
すべて良いことにおいて、あなたがたを力づけ、
聖霊の力によって、永遠の命の内にあなたがたを守ってくださるように。

一同 アーメン。

平和のしるし

司式 神がキリストにあつて私たちを赦してくださいました。
私たちも互いに赦しあいましょう。
主イエス・キリストの平和があなたがたと共にありますように。

一同 アーメン。

今日の集会

- ◇教会学校(オンライン併用) 9:30~10:15
 〈司会〉 K先生
 〈お話〉 S先生
- ◇成人学級 10:00~10:20
- ◇定期会員総会 礼拝後

《前週統計》

祈禱会・求道者会・教会学校はネット併用で開催

2021/3/21		男性	女性	男児	女児	合計
集 会 統 計	礼 拝	1 1	2 2	3	3	3 9
	祈 禱 会	1	3	0	0	4
	求 道 者 会	1 (5)	4 (7)	0	0	5 (12)
	オーブキッズ	—	—		—	—
	礼拝の恵み	—	—			—
	教 会					
	成人科	6	1 0			1 6
	幼稚科	3	6	1 (0)	2 (0)	3 (0)
	小学生			2 (1)	0 (1)	2 (2)
	中高生			0 (1)	0 (0)	0 (1)
献 金	礼 拝			3 4	0 4 0	
	教会学校			2, 0 0 0		

今週の集会

- ◇祈 禱 会 3月31日(水) 午前10時30分～ オンライン併用 エレミヤ書の学び
- ◇相 談 日 3月31日(水) 午後2時～5時 牧師相談日
- ◇求道者会 4月 1日(木) 午前10時30分～ オンライン併用(家庭集会と合流)

次週の集会 (4/4) イースター記念礼拝

- ◇教会学校 〈司会〉 G先生
 (ネット) 〈お話〉 K先生
- ◇成人学級 〈担当〉 吉田謙牧師 午前10時～10時20分
- ◇礼 拝 〈説教〉 吉田謙牧師「復活のイエス・キリスト」
 〈聖書〉 コリントの信徒への手紙一 15章29節～34節
 〈旧約聖書〉 簡易礼拝のため省略
 〈新約聖書〉 簡易礼拝のため省略
 〈讃美歌〉 148・280・542
 〈司式〉 吉田謙牧師 〈奏楽〉 K兄弟
 〈献金〉 S姉妹・T姉妹・Y兄弟
 〈礼拝当番〉 S執事・K兄弟

- ◇加入のための試問会 午前10時10分～ ◇教会学校教師会 礼拝後
- ◇小会 午後1時～ *礼拝の中で聖餐式・加入式が執り行われます。

お知らせ

- ◇4月4日(日)より一年間、A神学生(1年生, 山本伝道所会員)が派遣神学生として当教会に出席なさいます。どうぞ、よき交わりをお願いします。
- ◇本日礼拝後に定期会員総会を開催します。コロナ禍にあるため、報告は省略し、質問にのみ答えるという形で実施します。会員総会は、現住陪餐会員の三分の一の出席がないと成立しません。ご協力よろしくお願いします。
- ◇密集を避けるため基本的には一つの机に二人ずつ座るようにしてください(家族は例外)。また礼拝に出席する際には必ずマスクを着用し、一階でアルコール消毒をしてください。
- ◇祈禱会・求道者会・教会学校は、オンラインを併用しながらおこないます。その他の諸集会は、当面、休会といたします。
- ◇ラジオ伝道番組「キリストへの時間」(ラジオ関西 558KHz 日曜日午前7時30分～45分)を聞きましょう。4月4放送予定: 吉岡契典先生(板宿教会)「イースター希望①」
- ◇掲示板
 - *K先生より礼状が届いています。
 - *神戸改革派神学校より入学式、及び開講講演会の案内が届いています。

4月2日(金) 午前10時30分～(入学式) 午後1時30分～(講演会) 講師: 吉岡契典先生

◇今週の牧師予定

3月29日(月)午後1時30分～ 神戸改革派神学校理事会(オンライン)

3月の祈祷課題

- ①主の受難と復活を覚えて(受難週 3/28-4/3, イースター 4/4)。
- ②隣家購入・牧師館建築計画のために。 ③加入準備中のMご夫妻のために。
- ④昨年加入された方々、受洗された方々を覚えて。 ⑤会員総会のために。
- ⑥新型コロナウイルス感染症予防のために。 ⑦神学校のために。
- ⑧遠ざかっている方々を覚えて。 ⑨病の中の方々を覚えて。 ⑩求道者の方々を覚えて。
- ⑪川島利子姉妹のために。 ⑫年間教会標語「教会に生きる喜び」
- ⑬豪雨災害、大阪北部地震、北海道地震、熊本地震、東日本大震災の復興のために。
- ⑭滋賀摂理教会・千里山教会・園田教会・神戸長田教会・恵泉教会・板宿教会・南与力町教会のために。
- ⑮3月生まれの方のために。

今月の掃除当番

K姉妹・N姉妹

【本日の聖書日課のテーマ】「十字架の道」(受難週)

旧約聖書 哀歌5章15節～22節：罪の告白

新約聖書 マタイによる福音書26章36節～46節：ゲツセマネの祈り

「神の愚かさは人よりも賢く、神の弱さは人よりも強いからです」(Iコリント1:25)

ゲツセマネというのは、エルサレムの町の東側にあった小高い山の名前でした。最後の晩餐の後、主は弟子たちを連れて、そこに行かれました。聖書によれば、それは祈るためであったと伝えられています。

間近にせまる受難の時を覚えて、主は弟子たちに言われました。「わたしは死ぬばかりに悲しい。ここを離れず、わたしと共に目を覚ましていなさい」(マタイ26:38)。これほどまで露わに主が恐れや悲しみを示された場面は他には見られません。主イエスの言葉は命令というよりも哀願するかのような響きを感じさせます。主は弟子たちがそばにいてくれることを願い求めているのです。ここに描かれているのは、その指で悪霊を追い出し、その一言で波風を静める力に満ちた神の独り子ではなく、人間としての肉体と感情の中で不安に襲われている大工の息子の姿です。ややもすれば頼りがいのないこの主の姿こそ、しかし、主イエスが人間として私たちと同じ思いを共有し、共感することのできる方であったことを証ししているのです。ヘブライ書が語るように、主は「あらゆる点において、わたしたちと同様に試練に遭われた」(4:15)からこそ、人間の弱さにも同情できる方なのです。

一方、弟子たちもまたこのゲツセマネの場面で、人間の持つ弱さを露わにさらけ出します。「共に目を覚ましていなさい」と三度も命じられていながら、三度とも眠り込んでしまう肉体的・精神的な彼らの弱さ。それは、頭の中ではわかっているつもりでも、他者の痛みや苦しみを我が身のこととしては真に感じ取ることもできず、疲れているから忙しいからと理由をつけてはそうしたことを忘れてしまい、脇に追いやってしまう私たち自身の姿です。そこでは、「目を覚まして祈っていなさい」(マタイ26:41)という主の言葉すらも、何の役にも立たないかのようにすら感じられます。

最後の時がやってきます。「時が近づいた」。しかし、なおその時にも主導権を取っているのは、主御自身です。「立て、行こう」(26:46)。恐れおののきながらも、深い闇の中で最初の一步を踏み出すのは主御自身です。人間の持つあらゆる弱さを十分にわきまえつつ、なおそれらすべてを越える神の力に信頼し、新たな命に互いに生かされる日が必ず来ることを信じて進み行かれるのは、まさしく主御自身なのです。

ウエストミンスター小教理問答

問87

生命に至る悔い改めとは何であるか。

答

生命に至る悔い改めとは、救いの恵みであって、それによって罪人が、罪の自覚とキリストにある神の恵みの理解とから、その罪を悲しみ、憎み、新しい服従への充分な決意と努力をもって、罪から神へ立ち帰るのである。

使徒信条

我は天地の造り主、全能の父なる神を信ず。

我はその独り子、我らの主、イエス・キリストを信ず。

主は聖霊によりてやどり、処女マリヤより生まれ、

ポンテオ・ピラトのもとに苦しみを受け、
十字架につけられ、死にて葬られ、陰府にくだり、

三日目に死人のうちよりよみがえり、天にのぼり、

全能の父なる神の右に座したまえり、

かしこより来りて生ける者と死ねる者とを審きたまわん。

我は聖霊を信ず、聖なる公同の教会、聖徒の交わり、

罪の赦し、身体のよみがえり、永遠の生命を信ず。アーメン。

主の祈り

天にまします我らの父よ、

ねがわくは、み名をあがめさせたまえ。

み国を来らせたまえ。

みこころの天になるごとく、地にもなさせたまえ。

我らの日用の糧を、今日も与えたまえ。

我らに罪をおかす者を、我らがゆるすごとく、

我らの罪をもゆるしたまえ。

我らを、こころみにあわせず、悪より救い出したまえ。

国と力と栄えとは、

限りなく、なんじのものなればなり。アーメン。